

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	物理基礎				
教科	理科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	新編 物理基礎 (数研出版)				
副教材等	新課程版 プログレス 物理基礎 (第一学習社)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

①	物理的な事柄・現象に対する探求心を高め、推察などを通じ、物理学的に探求する能力と態度を養います
②	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1編 運動とエネルギー 第1章 運動の表し方	1学期中間考査	10月	第2編 熱 第1章 熱とエネルギー	1学期中間考査
5月	第2章 運動の法則		11月	第3編 波 第1章 波の性質 第2章 音	
6月	第3章 仕事と力学的エネルギー		12月		
7月		1学期期末考査	1月	第4編 電気 第1章 物質と電気抵抗 第2章 磁場と交流	
8月			2月	第5編 物理学と社会 第1章 エネルギーの利用	
9月			3月		学年末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います	
① 知識・技能	② 思考・判断・表現
③ 主体的に学習に取り組む態度	
なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします	
① 知識・技能	[定期考査, 小テスト]
② 思考・判断・表現	[定期考査, 小テスト, 発表]
③ 主体的に学習に取り組む態度	[授業への参加, ノート整理, 課題の提出状況]
年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します	

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	化学基礎				
教科	理科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	高等学校 化学基礎 (第一学習社)				
副教材等	新インプレス 化学基礎ノート (浜島書店)				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ① 物質とその変化に興味を持ち、化学的に探求する能力と態度を身につける。
- ② 化学の基本的な概念と原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。
- ③ 化学的な事物・現象についての観察や実験を通じ、まとめる力と表現力を身につける。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	物質の成分 混合物と純物質 物質の構成元素 単体, 化合物, 同素体 状態変化と熱運動	1学期中間考査	10月	溶解と濃度 溶解と溶液, 濃度計算	2学期中間考査
5月	原子の構造 原子の構成, 同位体, 電子配置, 価電子 イオン(生成やエネルギー) 元素の周期表・周期律		11月	化学変化と化学反応式 化学反応の量的関係 酸と塩基 価数, 強弱, 電離度など	
6月	イオン結合(性質, 組成式) 共有結合 電子式, 構造式, 分子間力, 極性など 金属結合(性質など) 結晶の比較		12月	水素イオン濃度 水の電離, pH, 指示薬 中和と塩 中和, 塩の種類と反応	2学期期末考査
7月		1学期期末考査	1月	中和滴定 中和の量的関係 中和滴定(実験操作) 中和滴定曲線 逆滴定, 二段階滴定	
8月			2月	酸化と還元 酸化と還元の定義 酸化数 酸化剤と還元剤の反応 半反応式など	
9月	原子量・分子量と式量 物質量 (mol) 個数・質量・気体の体積		3月	酸化還元の量的関係 金属のイオン化傾向 電池(ボルタ・ダニエルなど) 酸化還元反応の利用	3学期期末考査

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| ① 知識・技能 | [実践的な問題を解くために必要な基礎的・基本的な問題] |
| ② 思考・判断・表現 | [やや発展的な内容を含む問題や、グラフや図を扱った問題] |
| ③ 主体的に学習に取り組む態度 | [課題, 小テスト, グループワークや実験・観察レポート] |

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します

令和5年度 西武台千葉中学校・高等学校シラバス

科目名	生物基礎				
教科	理科	単位数	2単位	学年・コース	高校1年 全クラス
使用教科書	生物基礎（数研出版）				
副教材等	新課程 リードLightノート生物基礎（数研出版）				

1. 学習の目標・内容・特色(目標を実現するための重要点を含む)

- ①日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心をたかめる。
 ②目的意識をもって観察、実験を行い、生物学的に探究する能力と態度を培う。
 ③生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。

2. 学習の計画(どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

月	単元名	評価方法	月	単元名	評価方法
4月	第1章 生物の特徴		10月	第3章 ヒトの体内環境の維持	二学期中間考査
	生物の多様性と共通性 エネルギーと代謝			体内環境の維持のしくみ	
5月	光合成と呼吸	一学期中間考査	11月	免疫のはたらき	
	第2章 遺伝子とそのはたらき				
6月	遺伝情報とDNA		12月	第4章 生物の多様性と生態系	二学期期末考査
	遺伝情報の複製と分配				
7月	遺伝情報の発現	一学期期末考査	1月	植生と遷移	
				植生の分布とバイオーム	
8月			2月	生態系と生物の多様性	
				生態系のバランスと保全	
9月	第3章 ヒトの体内環境の維持		3月		三学期期末考査
	体内での情報伝達と調節				

3. 学習評価について (観点・評価場面設定・年度末評定)

評価は、次の観点から行います

- ① 知識・技能 ② 思考・判断・表現 ③ 主体的に学習に取り組む態度

なお、各観点別評価場面の設定については、具体的には次のものを対象とします

- ① 知識・技能 [・定期考査・小テスト・実験・観察レポート・提出物・発表・グループワーク 等]
 ② 思考・判断・表現 [・定期考査・小テスト・実験・観察レポート・提出物・発表・グループワーク 等]
 ③ 主体的に学習に取り組む態度 [・定期考査・小テスト・実験・観察レポート・提出物・発表・グループワーク]

年度末評定は、各学期の観点をもとに年度末の各観点を確定させ、その組み合わせによって決定します